

2025.7.18 No.1

新潟の土地改良



みどり
水土里ネット

未来の「水」「土」「里」を
創造する

新潟県土地改良
事業団体連合会



Vol.627

令和7年度 第1号

Contents

第67回 通常総会	1	令和7年度 新職員のご紹介／令和6年度 退職者のご紹介	7
第65回 土地改良功労者表彰式	2	新潟県土地改良事業団体連合会 事務機構図	8
令和6年度 全国水土里ネット表彰式	3	第5回「水が伝える豊かな農村空間～疏水・ため池のある風景～」写真コンテスト／	
令和7年度 新潟県農村振興技術研修会	4	未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展2025	9
中村真衣さんとの懇談会	5	連合会日誌／表紙写真紹介	10

第67回 通常総会

去る3月19日、県土連ビル(新潟市)において、本会第67回通常総会を開催しました。

開会に当たり帆苅会長より、「新潟県の財政は、非常に厳しい状況にあるが、昨年並みの予算を確保していただいた。本県は農業県であることから強い決意をもってほ場整備を推進していかなければいけない。関係機関と連携を取りながら、若者が農業に取組み、儲かる農業の実現に向け、頑張っていきたい」と挨拶がありました。

その後、来賓挨拶として花角新潟県知事からは、「新潟県では新潟県総合計画を策定中であり、その中で農業農村整備事業を重要な柱に位置付けている。事業の推進を通じ、活力ある新潟、そして、住んでよし、訪れてよしの新潟を目指したい。」、遠藤北陸農政局長からは、「変動性や不確実性が取り巻く環境下では、あらゆる事態を想定し、国民に食料を継続して安定供給できる農業の生産性向上と持続可能性を両立させながら、農村を維持していく必要がある。関係機関と連携を密にしながら、将来を見据えた農業・農村の構築に努めてまいりたい。」と挨拶をいただきました。

議事は、阿部徳威氏(亀田郷土地改良区理事長)が議長に選任され、上程された9議案について全会一致で承認可決されました。

また、本総会の議案において、理事の補欠選任が行われ、令和7年度から4名が本会の理事に新しく選任されました。



< 帆苅会長 >



< 花角知事 >



< 遠藤局長 >



< 阿部議長 >

理事紹介

役 職	氏 名	所属団体
会 長	帆 苅 謙 治	学識経験者
副 会 長	川 上 東 陽	小千谷土地改良区 理事長
専務理事	坪 谷 満 久	学識経験者
理 事	小 川 巖	荒川沿岸土地改良区 理事長
理 事	渡 邊 敏 夫	国府川左岸土地改良区 理事長
理 事	弓 納 持 博	吉川土地改良区 理事長
理 事	河 村 則 夫	刈谷田川土地改良区 理事長
理 事	澁 谷 幸 男	新発田土地改良区 理事長
理 事	櫻 井 雅 浩	柏崎市長
理 事	野 口 和 広	関川水系土地改良区 理事長

役 職	氏 名	所属団体
理 事	高 村 良 一	南魚沼土地改良区 理事長
理 事	皆 川 俊 和	早出川土地改良区 理事長
理 事	丸 山 久 夫	白根郷土地改良区 理事長
理 事	高 橋 隆	西蒲原土地改良区 理事長
理 事	中 川 昭 一	西蒲原土地改良区 副理事長
理 事	大 平 隆	信濃川左岸土地改良区 理事長
理 事	高 橋 宏	大和郷土地改良区 理事長
理 事	市 川 英 敏	阿賀野川土地改良区 理事長
理 事	三 宅 寿 晴	胎内川沿岸土地改良区 理事長

新
新
新
新

第65回 土地改良功労者表彰式

去る3月19日、県土連ビル(新潟市)において、第65回土地改良功労者表彰式を開催し、団体の部から2団体、役員の部から14名、職員の部から12名を表彰しました。

代表として、団体の部の林田広幸理事長(小布勢土地改良区)、役員の部の小林春男理事長(和田土地改良区)、職員の部の勝又良紀事務長(福島江土地改良区)に、帆刈会長から表彰状が手渡されました。

団体表彰

団体名

加治郷土地改良区
小布勢土地改良区

役員表彰

所属団体名	氏名
阿賀野川土地改良区	青木 隆文
豊浦郷土地改良区 加治川沿岸土地改良区連合	小林 隆雄
豊浦郷土地改良区	齋藤 啓一
豊浦郷土地改良区	遠藤 敏雄
角田山ろく土地改良区	大橋 一雄
角田山ろく土地改良区	赤川 毅
角田山ろく土地改良区	鈴木 亨
刈谷田川土地改良区	村上 行夫
田上郷土地改良区	齋藤 孝夫
田上郷土地改良区	近藤 富士夫
加茂郷土地改良区	近藤 喜作
出雲崎町	小林 則幸
柏崎土地改良区	庭山 伯宗
和田土地改良区	小林 春男

職員表彰

所属団体名	氏名
阿賀野川土地改良区	佐々木 利行
加治郷土地改良区	森 優裕
新発田土地改良区	佐藤 寿之
阿賀用水右岸土地改良区連合	遠山 浩一
亀田郷土地改良区	小松原 亜紀子
三条土地改良区	森山 利市
三島郡北部土地改良区	田村 正一
福島江刈谷田川大堰土地改良区連合	勝又 良紀
福島江土地改良区	五十嵐 定和
柏崎土地改良区	田中 清美
新潟県土地改良事業団体連合会	村上 直樹
新潟県土地改良事業団体連合会	佐藤 浩貴



< 団体表彰 小布勢土地改良区(林田理事長) >



< 役員表彰 小林理事長 >



< 職員表彰 勝又事務長 >



< 団体・役員・職員表彰受賞者の皆様 >

令和6年度 全国水土里ネット表彰式

去る3月26日、シェンバツハ・サボー（東京都）において、令和6年度全国水土里ネット表彰式（第66回全国土地改良功労者等表彰、農業農村整備優良地区コンクール）が開催され、受賞者及び関係者約500名が参加しました。

この表彰式には、受賞者及び関係者約500名が参加し、二階全土連会長、宮崎全国土地改良事業団体連合会会長会議顧問のほか、来賓として農林水産省から笹川農林水産副大臣、滝波農林水産副大臣及び農林水産省幹部らが出席され、盛大に挙行されました。

本県の受賞者は、以下のとおりです。この度の受賞、誠におめでとうございます。

第66回 全国土地改良功労者等表彰

全土連会長表彰
(団 体)
大潟あさひ土地改良区
(五十嵐理事長)
羽茂土地改良区
(駒形理事長)



〈五十嵐理事長（最前）〉
駒形理事長（中央）

全土連会長表彰
(個 人)
榎本 春実（魚沼市土地改良区 理事長）
米原 章善（角田山ろく土地改良区 理事長）
遠藤 二郎（亀田郷土地改良区 事務局長）
石井 実（新津郷土地改良区 事務長）
近藤 雅晴（三島郡北部土地改良区 総務課長兼事業課長）
渡辺 達巳（小千谷土地改良区 参事施設課長）
佐藤 芳弘（大和郷土地改良区 事務長）



石井事務長（最前）
遠藤事務局長（右から2番目）
米原理事長（右から3番目）
佐藤事務長（最奥、榎本理事長の代理出席）



近藤課長（最前）
渡辺参事施設課長（中央）
佐藤事務長（最奥）

農業農村整備 優良地区コンクール

農林水産大臣賞
大和川地区
(糸魚川市)
(大和川地区圃場整備事業)
大和川夢創倶楽部



〈滝波副大臣より表彰を受ける
糸魚川農林振興部（現 上越農林振興部）の竹内副部長（代理出席）〉

令和7年度 新潟県農村振興技術研修会

去る6月4日、新潟県民会館（新潟市）において、令和7年度新潟県農村振興技術研修会が開催されました。

この研修会は、会員である県や市町村、土地改良区等の方々を対象として、農業農村に関する幅広い情報を提供することで、総合的な技術力の向上を図りながら、新潟県の農村振興に寄与することを目的としたもので、約190名が参加しました。

NPO法人にいがた水土里支援センターの齋藤理事長の挨拶で開会し、日本航空株式会社の筒井支店長からは、地域活性化の取組みについて、全国土地改良事業団体連合会の室本専務理事からは、食料安全保障と土地改良の関係性について講演がありました。

研修会概要

内 容	説 明 者
開会挨拶	NPO法人にいがた水土里支援センター 理事長 齋藤 瑞穂
講演① 「日本航空新潟支店 地域活性化の取組みについて」	日本航空株式会社 東北支社新潟支店 支店長 筒井 玲子
講演② 「食料安全保障と土地改良」	全国土地改良事業団体連合会 専務理事 室本 隆司



< 齋藤理事長 >



< 室本専務理事 >



< 筒井支店長 >



< 会場の様子 >

中村真衣さんとの懇談会

令和7年3月5日(水) 県土連ビル6階 第1応接室



「女性が活躍できる組織について」



< 中村真衣さん >

元シドニー五輪 水泳銀メダリストの中村真衣さんと土地改良分野で活躍する女性が集まり、農業分野における女性の活躍と土地改良区の課題についての対談が行われました。

中村さんからは、スポーツ業界での結婚・出産後のキャリア継続の難しさについてお話しいただきました。

一方、土地改良においては、後継者不足等の課題が上がった他、女性の役割の重要性についても活発な意見交換がなされ、有意義な対談となりました。

■参加者

中村 真衣（新潟県参議院選挙区 第二支部長）
児玉 百合恵（西蒲原土地改良区 理事）
山口 小百合（越路原土地改良区 理事）
鈴木 裕実子（刈谷田川土地改良区 理事）
中川 みどり（西蒲原土地改良区 総務課課長補佐）
高本 真奈（新潟県土連 換地第1課係長）

■進行

坪谷 満久（新潟県土連 専務理事）



農業現場における課題

後継者不足、施設の老朽化、電気代の高騰などが深刻な課題として挙げられました。

特に農家の高齢化と若手農業者の確保の難しさが指摘され、それぞれの地域で営農の継続が困難となっている実情を実体験を交えてお話しされました。

また、農業水利施設の劣化が深刻であり、持続可能な農業のための更新・整備も課題として上がりました。



〈西蒲原土地改良区
児玉理事〉



〈越路原土地改良区
山口理事〉



〈刈谷田川土地改良区
鈴木理事〉

それぞれの視点から考える解決策

田んぼに水があること、美味しいごはんが食べられることが当たり前ではないことを理解してもらうため、土地改良事業の役割や重要性について発信する必要があるという声が上がりました。

農業経営の法人化や協同組合化の検討についても提案があり、女性や若者が参入しやすい仕組みづくりについての議論がなされました。

また、職員の立場からは、女性職員の採用拡大や組織内での役割分担の見直し、女性管理職登用などについて提案されました。



〈西蒲原土地改良区
中川課長補佐〉



〈新潟県土連
高本係長〉



未来の農業のために私たちができること

情報発信の重要性、SNSの活用やワークショップなど女性ならではの視点からの意見が多く出され、それぞれが農業の未来に対して真剣に考え、熱い想いを持っていることがわかりました。

中村さんは、女性自身の意識を変え、「女性でもできる」という考えを持つことが大切だと強調されました。女性だけでなく男性も含め、誰もが生き生きと働き、輝ける社会を目指し、積極的に意見を述べていくことが必要だと語られました。



FRESHERS

令和
7年度

新職員のご紹介

今年度、本会では7名の新採用職員が加わりましたので紹介します。

早く活躍できる人材になれるよう頑張ります。

技術部 設計第1課 技師

浅間 悠功

HISANORI ASAMA



本年度から設計第1課に配属となりました、浅間悠功と申します。3月に新潟県立新潟工業高等学校土木課を卒業しました。高校では測量や設計の基礎を学びましたが、まだまだ技術や知識も未熟だと感じております。1日でも早く役に立てる人材になれるように努力してまいります。

ご迷惑をお掛けすること多いと思いますが、よろしくお願いいたします。

一致団結「戦う土地改良」

事務局長

伊藤 広明

HIROAKI ITOH



本年度から事務局長を拝命した伊藤広明と申します。3月までは新潟県農地部の技術職として38年間農業農村整備に携わってまいりました。

気持ちを新たにするとともに、これまでの経験を活かしながら、当会の目的である「土地改良事業の適切かつ効率的な運営の確保、及び会員の利益増進」の達成に向け、職員と共に一致団結して取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

興味を持って、積極的に取り組みます！

技術部 設計第3課 技師

星山 功太

KOTA HOSHIYAMA



本年度から技術部設計第3課に配属となりました、星山功太と申します。新潟大学農学部を卒業後、測量会社での勤務を経てこの4月から業務に励んでおります。

大学では主に森林学や生態学を専攻してきました。農業土木に関して基礎的な知識しかありませんが、その分日々の業務を通して積極的に学んでいきたいと考えています。

早く皆様のお力になれるよう日々努力していきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

学びを大切に、日々努力します。

技術部 施設管理課 主事

窪田 稔也

TOSHIYA KUBOTA



本年度から技術部施設管理課に配属となりました、窪田稔也と申します。以前は他業種に従事していました。中途採用という形で皆様に関わらせていただき光栄に思います。

「土地改良」という自分にとって未知の分野について日々新たな発見と共にやりがいを深く感じています。

知識不足から皆様にご迷惑をおかけしてしまうかもしれません。1日でも早くお役に立てる人材になれるよう努めてまいりますので何卒よろしくお願いいたします。

農業に貢献できる人材になれるよう努力します。

技術部 調査課 主事

青木 勇磨

YUMA AOKI



本年度から技術部調査課に配属となりました、青木勇磨と申します。3月に新潟県農業大学校稲作経営課を卒業しました。

土地改良についての知識はありませんでしたが、農業を学んできた経験を業務に活かすことができたと考えています。

まだ不慣れな点が多いですが少しでも早く皆様の役に立てるよう努力していきますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

一人前になれるように頑張ります。

換地部 換地第1課 主事

加藤 瑞生

MIZUKI KATO



本年度より換地部換地第1課に配属となりました、加藤瑞生と申します。3月に高崎健康福祉大学農学部を卒業しました。

土地改良に関する知識はまだ十分でなく、ゼロからのスタートではありますが日々の業務に対して責任を持ち、誠実に取り組んでまいります。

一日でも早く皆様のお役に立てるよう努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

学んだことを活かせるように頑張ります。

換地部 換地第2課 主事

渡部 有貴衣

YUKIE WATABE



本年度から換地部換地第2課に配属となりました、渡部有貴衣と申します。3月に新潟大学農学部を卒業しました。

土地改良事業についての知識はまだまだ乏しく、日々新たに学ぶことばかりですが、実務において早く成長できるように努めていきます。

信頼される職員を目指して精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

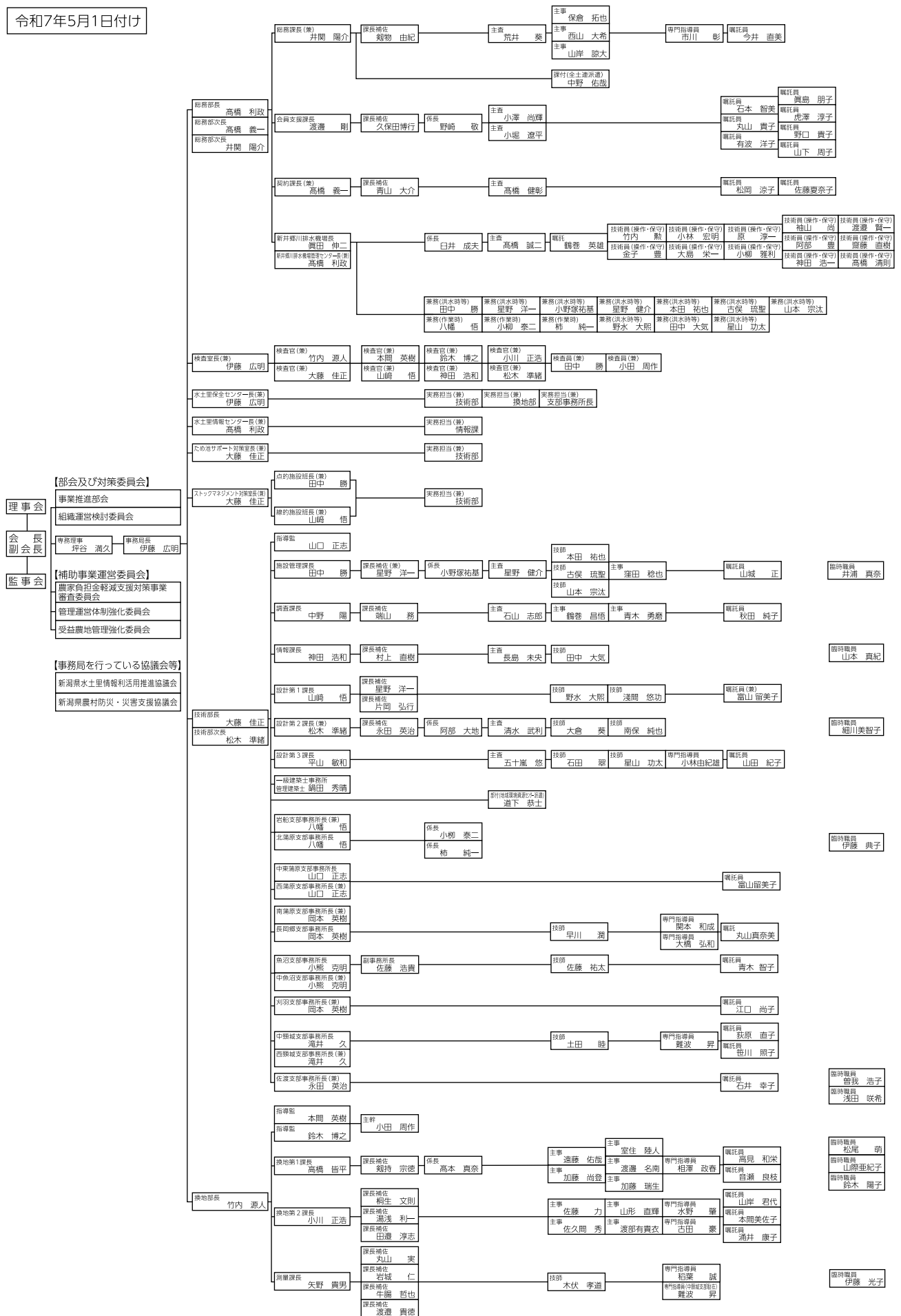
令和6年度 退職者のご紹介

令和6年度末をもって、本会では1名の職員が退職しました。大変お疲れ様でした。今後のご活躍をお祈り申し上げます。

所 属	役 職	氏 名
新井郷川排水機場	場 長	須貝 和明

新潟県土地改良事業団体連合会 事務機構図

令和7年5月1日付け



第5回「水が伝える豊かな農村空間 ～疏水・ため池のある風景～」写真コンテスト

全国土地改良事業団体連合会では、標記写真コンテストを開催し、用水路や農業用ため池などの農業水利施設に係る作品を募集しています。

このコンテストは、写真を通じて農業用水やため池が持つ生態系の保全や景観の創造といった様々な役割を広く国民に伝えることを目的としています。

5回目となる今年度は、新たに土地改良区(連合)の役職員、組合員を対象とした、「土地改良PR賞」が創設されました。奮って応募して下さい。

応募方法等の詳細は、全土連ホームページの写真コンテスト作品募集ページ
(<https://www.inakajin.or.jp/works/pr/photo-contest>)もしくは右記のQRコード
よりご確認ください。



応募期間：令和7年6月1日～11月30日まで



＜ 令和6年度 疎水部門
農林水産省農村振興局長表彰 ＞



＜ 令和6年度 ため池部門
農林水産省農村振興局長表彰 ＞

未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展2025

全国土地改良事業団体連合会ならびに都道府県土地改良事業団体連合会では、小学生以下を対象とした標記絵画展を開催し、農業・農村に関連した作品を募集しています。

この絵画展は、未来を担う子供たちに、絵画を通してふるさとの素晴らしさを発見し、水・土・里への関心を高めてもらうとともに、作品の展示や作品集の制作により、多くの人々に農業・農村の魅力をアピールすることを目的としています。

受賞作品は、12月に東京都美術館に展示されるなど、多くの方に見ていただく機会もありますので、奮って応募して下さい。

応募方法の詳細は、全土連のホームページの子ども絵画展作品募集ページ
(<https://www.inakajin.or.jp/works/pr/kids-art>)もしくは右記のQRコードより
ご確認ください。



応募期間：令和7年6月1日～9月5日まで



＜ 令和6年度 農林水産大臣賞作品 ＞



＜ 令和6年度 全国水土里ネット会長賞作品 ＞

連合会日誌

4月 15日 (火)	令和7年度 農業農村整備広報担当者会議	オンライン
22日 (水)	令和7年度 全国水土里ネット女性の会総会	オンライン
23日 (水)	全国水土里ネット多面的機能支払促進協議会 令和7年度 通常総会	東京都
	全国土地改良事業団体連合会 事務責任者会議	東京都
25日 (金)	改正土地改良法に係る説明会	石川県 (オンライン同時開催)
5月 16日(金)～17日(土)	北陸四県土地改良事業団体連合会協議会総会	石川県
19日(月)～23日(金)	本省検査	県土連ビル
21日 (水)	本会正副会長会議、本会理事会	県土連ビル
22日(木)～23日(金)	令和7年度 農家負担金軽減支援対策事業担当者会議	東京都
26日 (月)	新たな食料・農業・農村基本計画に関する説明会	オンライン
28日 (水)	令和7年度 北陸農政局管内土地改良管理課関係担当者会議	オンライン
29日 (木)	令和7年度 新潟県土地改良区運営基盤強化協議会	新潟市
6月 2日(月)～3日(火)	北陸四県土地改良事業団体連合会中央要請	東京都
4日 (水)	新潟県農村振興技術研修会	新潟市
10日 (火)	令和7年度 会計指導員育成研修 (第1回)	東京都 (オンライン同時開催)
17日(火)～18日(水)	令和7年度 全国水土里ネット女性の会&都道府県水土里ネット女性理事意見交換会	東京都
18日 (水)	農業農村整備の集い	東京都
24日(火)～25日(水)	都道府県土地改良事業団体連合会 総務担当者会議	東京都

表紙写真紹介



佐渡市新穂青木地区の田んぼアート (令和7年7月2日撮影)

表紙の写真は、新穂青木地区(佐渡市)において、実施されている田んぼアートです。

「脈々つながる いのちの日の出」をテーマに、佐渡市のトキ、豊岡市(兵庫県)のコウノトリ、大阪・関西万博の公式キャラクターのミャクミャクが描かれています。

万博では関連イベントとして、豊岡市と佐渡市の連携事業「環境創造型農業サミット」が開催され、「コウノトリを育む農法」、「朱鷺と暮らす郷づくり認証制度」がPRされました。

この田んぼアートには、生物多様性に配慮した環境にやさしい農業への取り組みが表現されています。



未来の「水」「土」「里」を創造する

